

令和3年度「家具転倒防災対策や感震ブレイカーの設置などによる防災対策に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

今後、より多くの方に家具転倒防止対策や感震ブレイカーの設置の重要性を知っていただけるよう、アンケートの結果を基に、令和4年度に向けた啓発手法を検討し、広報よこほまや地域への研修、イベント等あらゆる機会や媒体を活用しながら周知を行ってまいります。

2 アンケートを実施した感想

Q10の「通電火災の発生を防ぐため、地震発生時に自宅から離れる際、ブレイカーを落とすことが有効であることを知っていますか。」の質問において、「ア 知っている」の回答が多かった一方で、Q13の「感震ブレイカーという器具があることを知っていますか」の質問において、約半数の方が「イ 知らない」と回答があったことは、所管課にとって新たな発見であり、感震ブレイカーそのものの周知や設置の啓発を考える際の参考となりました。

また、Q8の「家具類の固定をしていない理由」のその他の意見として、「他の優先作業が多すぎてそこまで手が回らない」など、当該事業について、様々なご意見をいただき、結果の数値からだけでは得られない貴重な情報をたくさんいただくことができました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

この度は、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

皆様から率直なご意見をいただくことができ、大変参考になりました。家具転倒防止対策と感震ブレイカーの設置は大地震発生時に想定される被害を減少させるうえで大変重要です。今回いただいた意見を参考にし、今後も、市民の皆様にご自助の取組を進めていただけるように啓発及び支援を実施してまいります。

担当：総務局地域防災課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。